

府中市健康地域づくり審議会
第12回熟年元気づくり分科会 報告書

1 分科会の概要

- (1)日 時：平成28年8月8日（火）14時から15時30分まで
(2)場 所：市役所2階第1応接室
(3)出席者：宮 口 英 昭（分科会副会長） 寺 岡 暉（職権委員）
重 森 由 枝（分科会委員） 前 原 裕 吉（分科会委員）
藤 本 命 壮（分科会委員） 佐 伯 邦 章（分科会委員）
(4)欠席者：伊 達 速 人（分科会会長） 守 屋 綾 子（分科会委員）

2 概要

- (1)開 会
(2)分科会副会長あいさつ
(3)分科会委員の委嘱

委員への委嘱状の配付並びに委員の自己紹介を行った。

(4)議事

①熟年元気づくり分科会の活動

●関係資料の説明

事務局から「熟年元気づくり分科会の活動」について、資料により説明を行った。

②平成28年度の取り組み

●関係資料の説明

事務局から「平成27年度の活動」について、資料により説明を行い、「生きがい創業ビジネス補助金」、「プラチナ大学」、「提言に基づく新たな取り組み（育児・家事支援への高齢者派遣事業、コミュニティ・キッチン）」について意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

◆生きがい創業ビジネス補助金

○地域の課題解決を事業として成り立たせることを「ソーシャルビジネス」というが、課題を解決すること自体が難しい。悪戦苦闘しながら続ける

ことができる仲間をどう増やすかが、とても大事。収益が無いと集まる人は限られてくる。

○課題解決を探すには、人とどうつながってきたかが大きい。「収益、収益」では、結局つながりがなかなか広がらないと思う。

○補助金をいただいた人は、地域に愛される努力をしないと。皆さんに愛されるものがないと、無駄づかいになるような気がする。

◆プラチナ大学

○周知の方法として、町内会の回覧板も活用してはどうか。

○江戸川区が地域包括ケアシステムについて記事で取り上げられていたが、その関係者から話を聞くことができれば、勉強になると思う。

◆育児・家事支援への高齢者派遣事業

○次世代創造分科会との兼ね合いがある事業だと思う。

○いいアイデアだと思うが、どの程度ニーズがあるのかデータも必要。

◆コミュニティ・キッチン

○道の駅で、余った野菜を有効利用して実施できないか。

○料理教室のような参加型の方が、つくる過程が楽しくて続くと思う。

○1ヶ所に多くの人が集まるのは無理。府中市民病院の食育の取り組み、民間のキッチンや道の駅の利用など、地域に応じた取り組みが二、三年経ったらあちこちできていることが望ましいのではないか。

◆その他

○府中市の中で健康事業を発表するような機会をつくれば、情報交換になると思う。

○コミュニティは、大体中学校単位または小学校単位が基礎単位になる。その単位で事業をまとめてやるには、どうしたらいいかということが必要ではないかと思う。

(5)閉会

事務局のまとめとして、平成28年度の生きがい創業ビジネス補助金・プラチナ大学、新たな取り組みについての御意見・御指摘を踏まえて、今後の実施に向けた取り組みに生かしていきたい旨を述べた。

宮口副会長から、生きがい創業ビジネス補助金・プラチナ大学、新たな事業である高齢者による支援やコミュニティ・キッチンについて、いろいろ貴重な御意見をいただいた。元気な高齢者の増加に寄与できるよう、次回、またいろいろと知恵を拝借できたらと思っていると挨拶があり、閉会とした。